

2017年度・公式規則変更予定報

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
競技規則委員会



公益社団法人日本アメリカンフットボール協会競技規則委員会では、現在2017年秋季公式戦から適用される公式規則の変更作業を実施中です。

この「2017年度・公式規則変更予定報」は、本年の公式規則変更を予定している主要項目に関して概要を説明したものであり、各競技団体の早めの対応を可能にするために発行するものです。本予定報に記載している内容は、今後の作業で追加や変更の可能性のあるものです。正式には本年7月上旬に発表予定の「2017年度・公式規則変更内容・決定報」で公示いたします。

2017年度・公式規則変更予定主要項目

2017年度の公式規則変更として予定している主要項目は、次のとおりです。なお、各々の解説の最後の()内の英数字は、この変更が行われる予定の公式規則の主たる「篇一章一条」を表します。

(1) ニー パッドの規定

- ☆ 従来 NCAA では、「ニー パッドは膝を覆うことを強く要望する」と規定されており、「覆われていること。」と規定している日本の競技規則とは異なっていた。
- ★ 本年より NCAA では、「パンツは膝を覆っていること。」と規定が変更となった。日本の規定に変更はないが、表現を NCAA と同様とする。 (1-4-4-d 変更)

(2) フィールド ゴール時のリーピングおよびハードリングの規定の変更

- ☆ 従来、フィールド ゴール時のディフェンスのプレーヤーによるリーピングの反則は、相手または味方のプレーヤーの上に降りること(ランド)が条件の1つであった。
- ★ 本年より、スナップ時にニュートラル ゾーンから1ヤード以内で静止していないディフェンスのプレーヤーが、明らかにフィールド ゴールやトライをブロックしようとしてニュートラル ゾーンの前から走ってきてニュートラル ゾーンの前でリーピングする(前方に跳ぶ)ことやハードリングすることのみで、反則となる。 (9-1-11-b 変更)

(3) ホース カラー タックルの定義の変更

- ☆ 従来、ボール キャリアに対して、ショルダー パッドまたはジャージの襟の後部の内側をつかみ、あるいはショルダー パッドまたはジャージの襟の側部の内側をつかみ、急激にボール キャリアを引き倒すことが、ホース カラー タックルの定義であった。
- ★ 本年より上記の行為に加え、ジャージのネーム プレート部をつかみ、引き倒した場合もホース カラー タックルとなる。なお、タックル ボックスの内側にいるボール キャリア等に対する行為は反則にならないという規定に変更はない。(9-1-15 変更)

(4) インスタント リプレー(第 12 篇)の追加

- ☆ 従来日本では、インスタント リプレーに関する規定はなかった。
- ★ 本年より、インスタント リプレーに関する規則(第 12 篇)を追加する。なお、インスタント リプレーが採用されない試合における競技規則(ターゲティングの反則に対するビデオのレビュー等)の変更はない。インスタント リプレーの概要は以下の通りである。
 - フィールド上の判定は正しいという基本的な前提に基づくプロセスである。インスタント リプレーの対象と定められているプレーまたは反則の判定に対して、ビデオによる議論の余地のない証拠がある場合にのみ、リプレー オフィシャルはフィールド上の判定を覆することができる。
 - インスタント リプレーの採用は試合に必須のものではない。
 - インスタント リプレーの対象は、定められたプレーまたは反則のみである。得点に関わるプレー、ボールの所属に関するプレー、プレーヤーの人数、ターゲティングなどであり、パス インターフェレンスかどうか、ホールディングかどうか等は対象外である。
 - ヘッド コーチは、最初のチャレンジに成功すれば、2回目のチャレンジを行うことができる。チャレンジが失敗したときは、チーム タイムアウトが課せられる。ヘッド コーチのチャレンジは最大2回である。
 - リプレー オフィシャルがレビューのために試合を中断させる回数に制限はない。(第 12 篇 追加)

以上